

第1回 岐阜県教科用図書

安八町・東安中学校組合教育委員採択協議会

1 日時 令和7年7月18日（金） 18:10～18:40

2 場所 安八町中央公民館教育長室

3 出席者〈教育委員〉	〈事務局〉
教育長職務代理者 渡邊幸良	教育長 青山桂子
大橋香代子	教育課長 梅村明広
板屋千都世	教育課主幹 松久里美
〈東安中学校組合 教育委員〉	主任 片桐瑠美
棚橋 剛	

4 議事

○西濃地区採択協議会の採択結果及び採択の説明（教育長より）

- ・小学校R6年度より、中学校R7年度より現在の教科書を使用している。R8年度も同じ教科書を使用予定である。
- ・岐阜県内は7つの地区に分かれて採択協議会で検討している。安八町は西濃地区の採択の原案に基づいている。
- ・地区の採択協議会の原案をもとに本日この場で議決していただき、9／1情報公開し、学校に報告するとともにHPで公開する流れで進めていく。
- ・小学校と中学校で教科書会社が違うのは、書写 光村（小）→東書（中）と算数・数学 大日本図書（小）→東書（中）、道徳 光村（小）→東書（中）である。

○教育委員様からの質疑応答・ご意見（教科別）

- ・小学校の地図帳では、名産品なども描かれていて見やすく覚えやすそうである。中学校の地図帳も見開きには世界の料理の写真なども載っていて新鮮で興味を引かれる。カラー刷りも多く見やすく楽しく勉強できる。
小学校も中学校も教科書（東書）と地図帳（帝国書院）と会社が違うことは、昨年度も問題提起されたが、見やすさ、分かりやすさで採択されているのだろう。
- ・中学校の数学では、以前は教師が作成していた図形の断面体の具体物が自分で作成できるように教科書に付いているため、実際によく分かるのがよい。
- ・どの教科でも補助教材としてQRコードなどが充実している。授業を受けられない子も自分で学ぶことができ、どんな環境でもどんな学習形態でも学べるのがよい。以前は、英語のDVDなどを個人で購入して学ぶこともあったが、QRコードなどを活用すれば家庭でも音声のモデルがあるため、便利である。
- ・道徳は、前回と教科書が変更しているため学年によって使用する教科書が違うのでは？→資料の重なりがある場合もあるが一度確認する。

○教育委員様からの質疑応答・ご意見（校種別）

- ・中学校は、東書が多い？→内容がよいという理由で採択されている。教えることは変わらないし、甲乙つけがたいが内容に工夫があるということである。
- ・学校から教科書に対しての問題や使いにくさなどの意見はあがっているか？
→今のところそういう意見はなく、問題なく使用できている。教科書は、若い先生でもきちんと教えることができ、ベテランの先生との差が縮まるように工夫されている。
- ・教科書に載っている楽器は学校にあるのか？
→鍵盤ハーモニカ・リコーダーは全員購入している。その他の楽器は、学校に備品として可能なかぎり準備されている。中学校には、吹奏楽部があるため、さまざまな楽器がある。琴などの和楽器をレンタルすることもある。学校では、演奏するよりも触ってその楽器を知ることが大切である。興味関心を高めた子が教育委員会主催のジュニア文化サークル（琴）に参加することもある。
- ・理科でも実験のための器具は備品として揃えている。例えば現在は、アルコールランプではなく、卓上コンロなどを準備している。
- ・英語は、ノートを使わずに直接教科書に書き込めるようになってきている。書きながら覚えていく。ピクチャーディクショナリーでは、楽しく分かりやすくいろいろな英単語を覚えることができる。
- ・家庭に教科書を持ち帰らない？→今は、国語や算数以外は、タブレットを持ち運びすることで重くなるため学校に置いている。家庭に持ち帰らない教科書もあるため保護者も見えていないかもしれない。
- ・児童生徒が分かりやすい工夫だけでなく、教師が使いやすく、教材の準備等が楽になるような工夫もされており、働き方改革にもつながっていると考える。

5 議決

協議の結果、小学校・中学校とも採択原案のとおり決定した。

